

震災15年 2010年1月17日
『希望りんご』植樹106



挨拶する藤本義一氏



リンゴの木を植える子どもたち 芦屋市浜風町



復興のシンボルとして
阪神・淡路大震災の被災
地などに植えられてきた
「希望りんご」の植樹会
が17日、芦屋市浜風町、
児童館「浜風の家」であ
った。
敗戦後の日本を勇気づ

リンゴに命学んで

芦屋の
児童館で植樹

けた「リンゴの唄」のよ
うに被災地を励まそう
と、ボランティア団体「こ
の町・花の街・作戦」実
行委（大阪市）が199
7年3月から行ってい
る。自然災害を受けた県
外被災地を含め、106
カ所目、計574本が植
えられたことになる。
震災遺児らをケアする
施設として建てられた
「浜風の家」での植樹会
には、子どもたち約60人
が参加。芦屋市大槻町の
自宅で長男（当時30）
を失った後、同市呉川
町に植えられたリンゴを
ボランティアで育てた小
林守さん（78）が「育てる
ことで命の大切さを学ん
で」と話し、参加者らが

高さ約2メートルの木5本を植
えた。
市立浜風小3年の永井
祐馬くん（9）は「できる
限り世話をしておいしい
リンゴに育てたい」と話
していた。（堀内達成）

2010年1月18日、神戸新聞 朝刊



当時の模様を伝える
息子さんを失った
遺族の小林守さん



震災15年にちなみ、15個のりんごを5本の木に付け全員で集合写真

『この町・花の街・作戦』実行委員会

